

いっしょに ロコモーション

2017年、夏。
SLが走り始めます。

東武鉄道とともに
SL復活運転プロジェクトに
参加しませんか。

主役は、この地域を愛する
一人ひとりの「あなた」です。



2017年、夏。

下今市駅と鬼怒川温泉駅の間を
蒸気機関車が走り始めます。

東武鉄道、半世紀ぶりのSL復活運転。

里山に汽笛を轟かせながら、
杉並木を颯爽と、橋梁をたくましく走る。
その姿は、この地域を力強くけん引し、
懐かしい未来に向かって、
皆さまの想いとともに、
いっしょに走ります。

合言葉は、
「いっしょに、口コモーション。」

主役は、この地域を愛する
一人ひとりの「あなた」です。



SL復活運転プロジェクト

SL復活運転計画

運転開始: 2017年 夏
予定時期

運転予定区間: 東武鬼怒川線
下今市駅 ~ 鬼怒川温泉駅
12.4km

所要時間: 片道約 35分

運転日数: 土休日を中心に
年間最大 140日程度
(1日3往復程度)を予定



至浅草

東武日光



上今市



大谷向



東京スカイツリーからSLへ
時空を超えたタイムトリップ



いっしょに、 ロコモーション しましよう。

のどかな景色の中を力強く走るSL。
沿線からSLに笑顔で手を振る子供たち。
車窓から笑顔で手を振り返す旅人。

笑顔は、人の心を動かし、
人と人を繋いでいきます。

ロコモーションとは、
蒸気機関車が走りだすときのように
だんだんと勢いを増していく
「力強い運動」を指します。

あなたも、東武鉄道とともに
「SL復活運転プロジェクト」に
参加しませんか。

手を振ろう。 いきいきしよう。

乗客を乗せて力強く進むSLに、
沿線から手を振ってみませんか。SLの走る音が
聞こえてきたら、家から外に出て、
作業の手を休めて、手を振ってみませんか。
住民のあたたかな心が旅人にきっと伝わるはずです。
沿線から、手作りの旗を力いっぱい振って、
歓迎の気持ちを伝えてみませんか。
旅人は、この土地を旅先に選んで本当に良かった。
この土地にきっとまた帰って来よう。と思うはずです。
ちょっとした行動が、ちょっとした気持ちが、
この地域を元気にします。



いっしょに、
ロコモーション
しましよう。

もてなそう。 笑顔になろう。

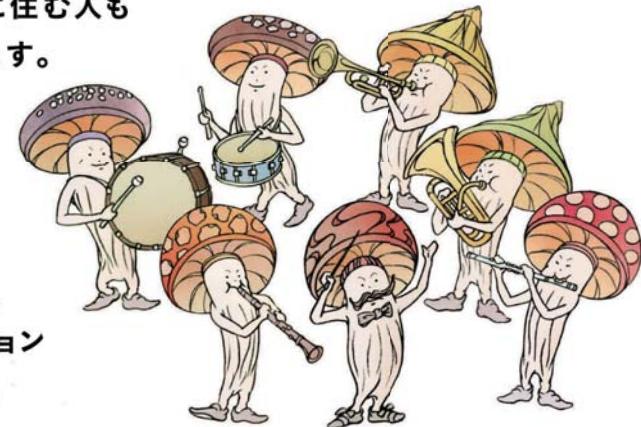
SLの乗客の皆さんにこの土地のおいしい水で
つくった自慢の蕎麦を食べてもらいませんか。
朝、家の畑で採れた新鮮な野菜を駅で
売ってみませんか。この地域の豊かな自然の
素晴らしさが伝わるはずです。
趣味で始めた手作りの杉の木工品を
お土産にしてもらいませんか。あなたの心のこもった、
あたたかな気持ちが伝わるはずです。
訪れた旅人との触れ合いが、皆さんを笑顔に変えて、
SLが走るこの地域を豊かにていきます。



いっしょに、
ロコモーション
しましょう。

発表しよう。 自慢しよう。

SLが発着する駅のホームで、
毎日一生懸命練習してきたプラスバンドやダンスを
乗客の皆さんに披露してみませんか。みんなに
声をかけて地元の民謡と踊りで出迎えてみませんか。
突然のサプライズにこの土地にやって来た旅人は
思わず感動するに違いありません。
SLの汽笛に負けない和太鼓の響きを駅の構内で
轟かせてみませんか。住民と旅人の心が
ひとつになるはずです。皆さんの心がこもった歓迎が
この土地を訪れた人も、
この土地に住む人も
幸せにします。

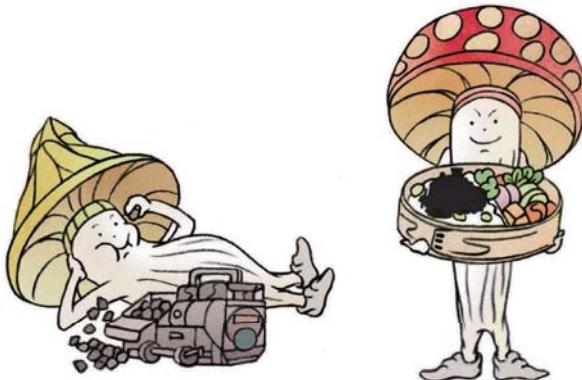


いっしょに、
ロコモーション
しましょう。

沿線名物を つくろう。

SLが走る沿線ならではの名物をつくりませんか。
たとえば、地元で採れたキノコの炊き込みご飯に
SLを型どった海苔をのせた「SLキノコ弁当」。
パッケージに石炭そっくりのクッキーが入ったSL型の
「SL石炭クッキー」。日光杉を加工した木型部品で
SLを組み立てる「日光杉機関車」などなど。
こんなものを沿線の名物にしたい。
こんなものを駅で販売したら話題になるに違いない。
皆さまの新たなチャレンジが、面白いアイデアが、
この地域に新たな活力を生み出します。

いっしょに、
ロコモーション
しましょう。



「SL復活運転プロジェクト」に
参加しませんか。

たとえば、駅のホームで、駅舎内で、こんなことをやってみたい。

沿線でこんなことができないか。

車内でこんなことをしてみたら面白い。

この冊子でご紹介した取り組みは、ほんの一例です。

今回のプロジェクトの合言葉は、「いっしょに、ロコモーション。」

ロコモーションとは、蒸気機関車が走りだすときのように、
だんだんと勢いを増していく「力強い運動」を意味します。

東武鉄道は、SLを通じて日光・鬼怒川エリアの魅力を
より多くの方に伝えたい！もっと活気あふれる街にしていきたい！
と考えています。そのためには、沿線の皆さまと一緒に
「力強い運動」が欠かせません。

皆さまの個性あふれるアイデアをお待ちしております。

—*TOKI*—

東武鉄道株式会社

〒131-8522 東京都墨田区押上一丁目1番2号